

サービス・システム名称	大分類 (いずれかを選択)
UTIS(ユビークリンク交通情報システム)	■ライフ □ビジネス
小分類 (記入要領に従い、最大で5つまで選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 安心・安全 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 食 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ <input type="checkbox"/> 見守り・介護 <input type="checkbox"/> 就労・労働 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 電子認証・決済 <input type="checkbox"/> コンテンツ制作・流通 <input checked="" type="checkbox"/> 防災・災害対策 <input type="checkbox"/> 地理的情報格差解消 <input checked="" type="checkbox"/> アクセシビリティ <input type="checkbox"/> セキュリティ対策 <input checked="" type="checkbox"/> 交通・物流 <input type="checkbox"/> 業務効率化 <input type="checkbox"/> 生産性向上 <input type="checkbox"/> ポータルサービス <input type="checkbox"/> 行政サービス <input type="checkbox"/> その他()	
u-Japanの理念 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ユビキタス <input checked="" type="checkbox"/> ユニバーサル <input checked="" type="checkbox"/> ユーザ <input checked="" type="checkbox"/> ユニーク
地域活性化への貢献、地球温暖化問題への対応 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化問題への対応
企業または団体名	
株式会社ユビークリンク	
サービス・システムの概要	
<p>走行中の車両の位置データを大量に収集し、従来は存在しなかった広範で精度・鮮度の高い交通情報を生成するシステム。走行車両をセンサーにして交通情報を生成し、携帯電話を通して商用サービスにしたのは世界初。位置データは全国12000台の契約タクシーと当社が運営する携帯ナビ「全力案内！」利用者から収集。生成した交通情報は「全力案内！」を通して車ナビ利用者に渋滞回避経路を誘導している(http://www.z-an.com/z02_utis/)。利用者の快適なドライブの支援をはじめ、渋滞に伴う環境悪化の改善、渋滞を契機とした交通事故の回避、物流の経済性向上、都市計画の効率化などに寄与している。</p>	
サービス・システムの狙い (利用想定層、開発・提供のきっかけ)	
<p>これまでカーナビ等に提供されていた交通情報は、路上に設置されたセンサーにより提供されていたため、交通情報の提供範囲が幹線道路等に限定されていた。そのため、カーナビユーザは幹線道路以外の渋滞状況がわからず、迂回路に入る判断ができない、迂回路で渋滞に合う、ことになっていた。本システムは幹線道路も非幹線道路でも交通情報を提供できるため、利用者は渋滞を回避することが可能となる。</p>	
サービス・システムの特徴・特記事項	
<p>タクシー企業の配車管理システムと回線で接続、1分間に約3万件の車両位置データを収集し、5分単位の車両位置データ(約15万件)に基づき、瞬時のうちに精度の高い交通情報を生成している。車両の位置データを収集し交通情報を生成する技術は、“プローブ”と呼ばれ、ITS業界で注目され長年研究されてきた技術が、本システムで初めて実用的なレベルで一般利用者が活用できるようになった。</p>	
利活用の状況	
<p>提供地域 主要政令指定都市等(東京・横浜・川崎・千葉・埼玉・札幌・仙台・名古屋・大阪・神戸・広島・北九州・福岡等) 導入主体 <u>株式会社ユビークリンク</u> 提供開始年月日 <u>2007年10月1日</u>(開発年月日) <u>2007年8月1日</u></p>	
定量的導入効果	
<p>ユビークリンクの親会社である野村総合研究所が都内で実施した走行実験では、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 幹線道路を走行した場合に比べ、最大33%、平均19%の時間短縮効果が得られた。 ② 幹線道路を走行した場合に比べ、最大24%、平均14%の燃料消費量の削減効果が得られた。(燃料消費量については、中型乗用車クラスを想定)⇒別紙2を参照 	
定性的導入効果	
<ol style="list-style-type: none"> ① 渋滞回避による快適なドライブの実現 ② 渋滞回避による各種社会貢献(環境悪化の改善・防止、交通事故の回避、物流の経済性向上など) ③ 道路・橋梁等の建設計画の策定や、建設後の効果測定の効率化 	
導入に当たって克服した課題 (苦労をした点・工夫)	
<ol style="list-style-type: none"> ① 異なるデータ特性(各車両からの位置データ送信のタイミングや地域における台数分布、運転特性等)を持つ各タクシー企業の車両位置データに応じたチューニング ② 位置データから交通情報を生成するために必要なデータクレンジング、マップマップマッチング等の交通情報生成技術の開発 	
現状の課題、今後の展開など	
<ol style="list-style-type: none"> ① 現状提供中の交通情報に関して、情報提供可能道路の一層の拡大、情報の正確性の向上 ② 世界に通用するシステムにつき、今後はグローバルな展開を目指しています。 	
過去の表彰歴および表彰に関する報道等	
本件の問合せ先	株式会社ユビークリンク 事業企画本部 島次志 丸山真樹 (TEL045-336-7122)